

鳥取県県土整備部河川課



村下 計画係長

水防対策ということで、このたびのたび重なる豪雨災害を教訓にソフト対策の方にも力を入れていくということにしています。

まず「リアルタイム情報の提供」。今年度単県事業で雨量、水位、土砂災害警戒情報のインターネット配信事業に取り組み、現在はパソコンと携帯電話で、水位、雨量、土砂災害の警戒情報が閲覧できるようになっています。

次に「危険情報の周知」。浸水想定区域図の整備公表及び市町村の洪水ハザードマップの作成です。鳥取県ではまだ浸水想定区域図を作っていないので、作成促進を図ろうと、17年度から順次作成するように現在予算要求をしています。

それから「水防活動体制の強化」。洪水予報河川と水防警報河川の指定を現在検討中です。非常に危険な河川につきましては指定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

最後に「市町村の防災意識強化」。今後、市町村との意見交換会や、関係部局との協力で図上訓練を実施していきたいと考えています。

鳥取県西部総合事務所 県土整備局

管内に16水系、34の河川がある中で、危険情報の周知ということから重要水防区域を再点検しています。特に計画流量の多いところについて調査しており、この日野川水系では小松谷川、東長田川といったところを調査しています。

このほか定点カメラを設けるということで現在、米子市旧加茂川の灘町橋のあたりにカメラを設置する予定、リアルタイムで見てもらおうという取り組みをしています。



林 河川砂防課長

鳥取県日野総合事務所 県土整備局



播磨局長

住民のみなさんは、洪水ハザードマップを見ていただいて、洪水が出て堤防が切れたら自分の家はつかののではないかと認識を常に持っていたきたいというのが希望です。

災害は情報戦です。県もインターネットで情報を流すということなので、情報を大切に災害に立ち向かっていっていただきたいというふうに思います。

今年は他県で大きな水害があり破堤をした関係で重要水防区域の見直しがあり、日野の管内でも行いました。一番危険な箇所は築堤河川で、これが切れますと豊岡のようなことになります。溝口町に築堤河川がありますので、十分認識していただきたいと思っています。

日野郡の管内のうち日野川本川で一番危険なところは霞地区と認識していますが、なかなか予算が厳しく河川改修の予算がつかない状況が続いています。

災害が起きてから予算がついたのでは非常に後手になりますので、ぜひとも予算に対する御支援をいただきたいと思っています。

国土交通省日野川河川事務所



茅原事務所長

日野川は平成8年に洪水予報指定河川に指定されています。国土交通省と気象庁で、雨、河川の水位等の情報を検討し洪水の予測、予報をしており、洪水注意報や洪水警報あるいは洪水情報について鳥取県を通して各自治体へ、あるいは一般の方々に対してはテレビ・ラジオを通して流しています。但し過去あまり大きな洪水がなかったために、数回しか流していないという状況です。

また私どもの水位観測所のデータや雨量は、河川情報センターからインターネットを通じて携帯電話、一般の方でも入手できるようになっています。

それから、ハザードマップをつくるようにしています。このマップで避難場所等を告知することについて、私どもも協力したいと思っています。

それともう一つ。私どもは毎秒0.5トンの排水ポンプ車と照明車を用意しています。私ども以外の事務所にもございますので、非常時に自治体から要請があれば、いつでも出せるようにしています。

「地域の方々とともに」

昨年、日野川においては、大規模な出水まで至りませんでしたが、異常気象等の状況を考えると、当地域において、いつ大規模な出水により被害が起きてもおかしくありません。いつ起きてもよいように常日頃からの「備え」が必要です。

地域のコミュニティーを大切にするとともに、非常時の持ち出し物や避難場所等普段から考え、準備し、避難がスムーズに行われるように備えることが最も大切ではないでしょうか。

行政は、ハザードマップの作成・周知や避難勧告等の発令基準、伝達方法の体制等をしっかりしておくことが必要であり、地域の方々と一体となって、水害に対する認識を深めていくことが重要だといえます。